

擁 壁に関する
調査表記入マニュアル

[D120] 擁壁基本

この調査表は、擁壁に関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱う擁壁としては以下を対象とする。ただし、管理上必要と判断される擁壁については関連部署と協議の上データ整備の対象とする。

- ① ブロック積擁壁の場合、最大高さ3 m以上
- ② コンクリート擁壁の場合、最大高さ5 m以上
- ③ 階段状擁壁の場合、高さに関係なく対象とする。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注1)
- 路線毎とする。
- 擁壁設置箇所毎とする。 注2)
- 構造形式毎とする。

注1) ・データ作成単位が管轄（事務所や出張所）や都道府県市区町村に跨がる場合には、管轄毎、市区町村毎に分割してデータを作成すること。

・市区町村の境界が不明確な場合や市区町村境と管轄境界が一致しない場合には、担当部署や関連する事務所及び出張所間で協議してデータを作成すること。

注2) 擁壁が階段上に設置されている場合は、最小段、1段目……に分けて登録する。

(2) 擁壁に関する写真・図面類については「D121擁壁図面類」にて作成する。

(3) 擁壁に関する補修履歴等については「D122擁壁補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C

(X) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成 5年 ——> $\begin{array}{c} \underline{4}05 \\ \uparrow \\ \text{年号コード(4:平成)} \end{array}$

(Y) 完成年月

該当する擁壁の完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年 8月 ——> 198508

(Z) 上り下り区分C : ◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(AB) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(AD) 設置区分C : ◆

擁壁の設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
背面が盛土の場合の擁壁	1
背面が切土の場合の擁壁	2
橋梁(高架橋)の取付用擁壁	3
その他	9

(AF) 構造形式C : ◆

構造形式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
石積・ブロック積擁壁	1 1
重力式コンクリート擁壁	1 2
もたれ式擁壁	1 3
棚式擁壁	1 4
井げた組枠擁壁	1 5
半重力式擁壁	1 6
片持ばり式擁壁（逆T式）	1 7
控え壁式擁壁	1 8
支え壁式擁壁	1 9
混合擁壁	2 0
U型擁壁	2 1
L型擁壁	2 2
逆L型擁壁	2 3
補強土壁工法	2 4
その他の擁壁	9 9

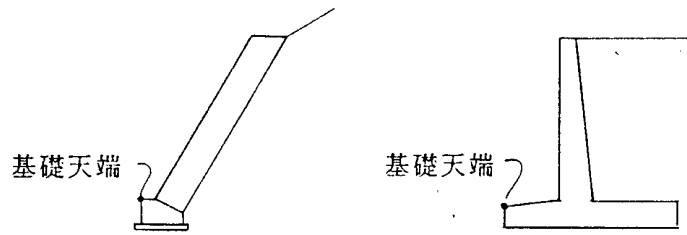
(AH) 基礎形式C : ◆

基礎形式について、該当するコードを記入する。なお、形式が複数ある場合は代表的なものを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
直接基礎	1 1	木 ぐ い	5 1
場所打ぐい（深礎含む）	2 1	砂 利 杭	6 1
既製鋼管ぐい	3 1	置換基礎	7 1
既製H鋼ぐい	3 2	地盤改良基礎	7 2
既製RCぐい	4 1	そ の 他	9 9
既製PCぐい	4 2		

(AJ) 擁壁延長 (m) : ◆

該当区間に設けられている擁壁ののべ延長を、小数点以下1位まで記入する。なお、延長の算出にあたっては基礎天端でとらえる。



(AK) 擁壁設置道路延長 (m)

擁壁が設置されている道路の延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AL) 最大高 (m) : ◆

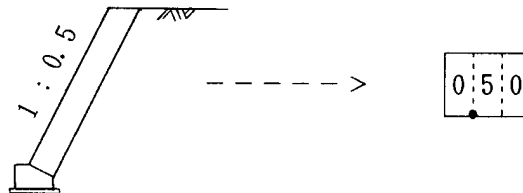
(AM) 最小高 (m) : ◆

上記 (AL)、(AM) については、擁壁の高さの最大値、最小値を、小数点以下1位まで記入する。なお、高さが一定の場合は、最大と最小の記入欄に同値を記入する。

(AN) 勾配

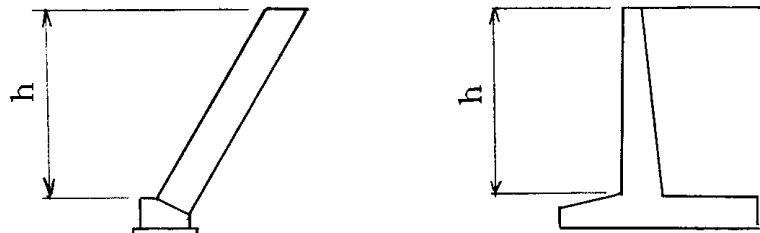
擁壁前面（天端と法尻を結んだ）の勾配を記入する。なお、複数の勾配がある場合には代表的な勾配を記入する。前面が直の場合は0.0とする。

(記入例)



(AO) 擁壁面積 (㎡)

該当区間に設けられている擁壁の表面積を記入する。



$$\text{表面積} = h \times \text{長さ}$$

(AP) 工場製品場所打別C

擁壁の材質について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
プレキャスト（工場製品）	1
場所打ち	2
その他	9

(AR) 主要材料C

主要材料について、該当するコードを記入する。

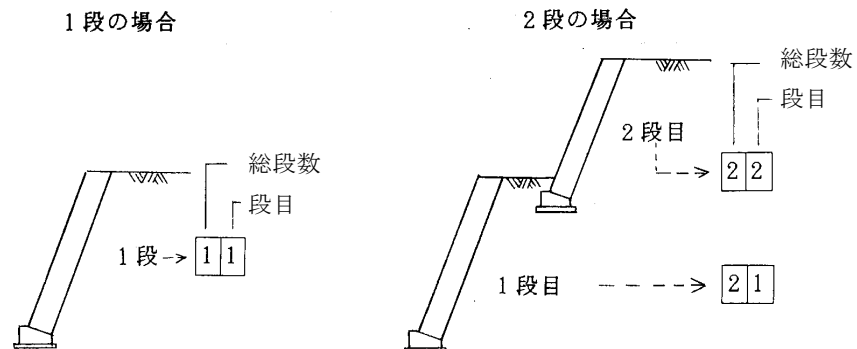
区 分	コード
無筋コンクリート	1 1
鉄筋コンクリート	1 2
石 積	1 3
ブロック	1 4
その他	9 9

(AU) 総段数

(AV) 段目

上記 (AU)、(AV) については擁壁が階段状に設けられている場合、その総段数と該当する擁壁の段目（位置）を記入する。

(記入例)



(AW) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AX) 市区町村自C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
 (検査数字は含まない)

(AZ) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

〔D122〕 擁壁補修歴

この調査表は、擁壁の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「D120擁壁基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
地表水の浸透防止	1 1
水抜孔の設置（増設）	1 2
石積、ブロック積擁壁等局部的積直し	1 3
ひびわれ等への充填	1 4
擁壁背面部の充填	1 5
基礎（フーチング）拡大	2 1
" 増杭	2 2
" 根固工	2 3
周辺地盤の補強	2 4
対策工法（アンカー工法）による補強	3 1
対策工法（コンクリートによる腹付擁壁）	3 2
嵩上げ	4 1
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/2

D120：擁壁（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
設置区分C	半角1文字		○	○
構造形式C	半角2文字		○	○
基礎形式C	半角2文字		○	○
擁壁延長	9999999.9	m	○	○
擁壁設置道路延長	9999999.9	m		○
最大高	99.9	m	○	○
最小高	99.9	m	○	○
勾配	9.99			○
擁壁面積	99999999	m ²		○
工場製品場所打別C	半角1文字			○
主要材料C	半角2文字			○
総段数	9			○
段目	9			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D120：擁壁（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字			○
市区町村至C	半角5文字			○

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

D122：擁壁（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照